2024年度 日本工学院八王子専門学校											
スポーツ健康学科三年制 スポーツビジネスコース											
スポーツ社会学											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	金森 純			実務 経験	有	職種	研究教育機関				
授業概要											
健康増進、経済活性化、国際競技力の向上といった日本のスポーツ振興に関わる政策の方向性や人権や公正といったスポーツに関わる法律や指針について学びます。											
到達目標											
わが国のスポーツ振興の現状を理解し、その長所と短所を考察できるようになることを到達目標とします。また、今後望まれるスポーツ行政の在り方を提示できるよう意識してください。またその日のテーマとなる事象について、行政、地域、参加者、観客などの多様な利害関係者の視点を意識し、それぞれの立場に立ちながらディスカッションに参加しましょう。そこでの議論を元に思考を深め、口頭あるいは文章として、自らの考えを表現する力を身に付けることを到達目標とします。											
授業方法											
本授業は全て講義形式で行います。詳細は初回講義時に説明しますが、パワーポイントを用いて講義を進め、資料を配布します。出席者にも意見を求め、ディスカッションを行いながら進めるので、自分の言葉で意見を言えるよう準備をしておくよう心掛けましょう。また毎回授業の最後にリアクションペーパーを課します。限られた時間と紙幅の中で、自らの思考を表現できるよう日頃から意識しましょう。											
成績評価方法											
リアクションペーパー（30％）：授業内容の理解度確認中間テスト（20％）：授業内容の理解度を確認（7回目授業時に実施） 期末試験（50％）：本授業で学習した内容への理解度に対する総合的評価											
履修上の注意											
学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視します。キャリア形成の観点から、授業中の私語、携帯電話の使用などの受講態度などには厳しく対応します。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求めます。授業で学ぶ様々な事象について関連付け・理由付けができるよう、新聞・ニュースなどから幅広く情報を収集するよう心掛け、主体的に参加してください。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。											
教科書教材											
配布資料を使用											
回数	授業計画										
第1回	ガイダンス：授業の概要について理解します。スポーツと行政の関係について理解します。										
第2回	スポーツ社会学の必要性：なぜスポーツ社会学が必要とされるのかについて考察します。										
第3回	スポーツの社会学的理解：スポーツの社会的な捉え方について考察します。										

2024年度 日本工学院八王子専門学校

スポーツ健康学科三年制 スポーツビジネスコース

スポーツ社会学

第4回

スポーツの文化システム : スポーツが文化的なシステムとしてどのような役割を果たしているのか考察します。

第5回

スポーツの社会システム : スポーツが社会的なシステムとしてどのような役割を果たしているのか考察します。

第6回

スポーツと政治・経済 : スポーツが政治や経済とどのような関係を持っているのか考察します。

第7回

日本人のスポーツ観 : 日本人や日本的な文化の中で、スポーツがどのように捉えられているのか考察します。

第8回

スポーツと社会化、中間テスト : 人間の成長過程においてスポーツがどのような役割を果たしているのか考察します。

第9回

スポーツと人種 : スポーツと人種を巡る課題について考察します。

第10回

スポーツと身体 : スポーツにおいて身体がどのように扱われてきたか考察します。

第11回

スポーツと暴力 : スポーツにおける暴力の問題について考察します。

第12回

スポーツジャーナリズム : ジャーナリズムが果たしてきた役割や課題について考察します。

第13回

プロスポーツ : プロスポーツが社会で果たしてきた役割を考察します。

第14回

スペクテイタースポーツ : スペクテイタースポーツが社会で果たしてきた役割を考察します。

第15回

まとめ : これまでの議論から、スポーツ社会学的な観点からみたスポーツの姿について考察します。